レポート：住宅価格は昨年から13.4%上昇

Redfinのレポートによると、米国の住宅価格は、パンデミックの開始以来13.4%増加し、2月の29.4兆ドルから2021年2月の33.4兆ドルに増加しました。
この増加は、コロナウイルスの制限による遠隔作業のために、住宅所有者や企業が密集した沿岸都市から移転できることによって部分的に推進されました。フロリダ州ジャクソンビル、テキサス州オースティン、ノースカロライナ州シャーロットなどの都市では、スペースと日光のある手頃な価格の場所が提供されるため、住宅価格が特に急激に上昇しました。

Redfinは、ジャクソンビルの住宅価格が前年比で21%上昇したと報告しました。これは、米国で最も人口の多い50の大都市圏の中で最大の上昇です。リストの上位にある他の都市には、オースティン（18%）、シャーロット（17%）、アリゾナ州フェニックス（16%）、カリフォルニア州サクラメント（15%）が含まれます。

「多くの現金購入者がロサンゼルスのような大都市からジャクソンビルに来て、税金の引き下げを利用しています。彼らは売り手に提示価格をはるかに上回っています」とRedfinの不動産エージェントHeatherKruayaiは述べています。 「彼らは、以前は控えめなコンドミニアムしか購入できなかったのに、ここで素敵なビーチハウスを買う余裕があることを発見しました。」

Redfinの分析によると、町外れの人が引っ越し先の上位に移動する場合、住宅購入の予算は地元の人よりも多くなります。 2020年にオースティンに移転した人々の平均住宅予算は852,276ドルで、地元のバイヤーの平均予算より32パーセント高かった。

「売り手は、市場がどれほど熱いかを知っているので、最高額を獲得することを決意しています」とKruayaiは言いました。「地元の人々は、州外のお金と競争することができず、市場に十分な家がないため、高値をつけています。」

SOURCE: THE TITLE REPORT https://bit.ly/2PFp82y

PROVIDENT TITLE COMPANY